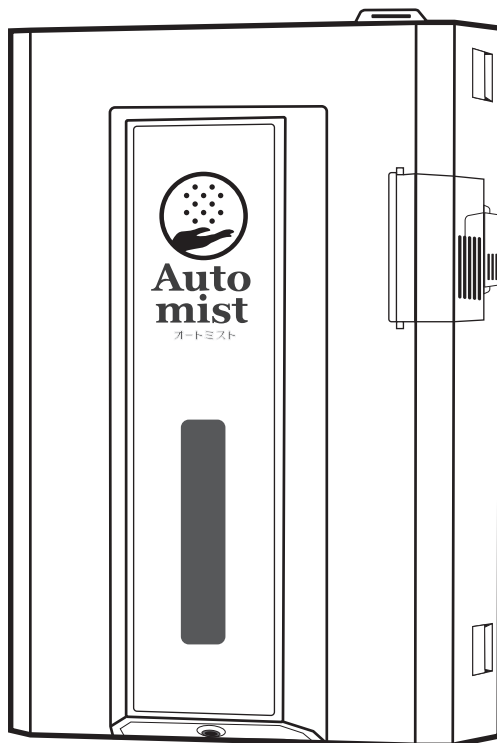


# オートミスト

## Auto mist

【AM-350/AM-1000シリーズ共通】



### 取扱説明書・保証書付

本書は製品の説明書および保証書となります。大切に保管してください。  
ご使用前によくお読み頂き、注意事項を必ずお守りください。

#### 目次

安全上の注意	1 ~ 2
各部名称	3
仕様	4
設置方法	5
◆設置・組立の前に	
◆壁やフロアスタンドへの設置方法	
ご使用の前に	6 ~ 7
◆保護フィルムのはがし方	
◆電池の入れ方	
◆液体の充填方法	




ご使用方法	8
◆電源の入れ方・噴霧の方法	
◆液体噴霧量の調節方法	
◆ライト表示の説明（ノーマルタイプ）	
お手入れ方法	9
◆本体のお手入れ方法	
◆タンク内のお手入れ方法	
こんな時には	9
保証・修理と個人情報の取り扱い	10
◆保証規定	
◆免責事項と限定保証	
◆個人情報の取り扱い	
保証書・お客様問い合わせ窓口	11





**ヨコモリ電池屋**  
—— コーポレーション ——




製品を安全にご使用いただくため「安全上の注意」をご使用前によくお読みください。ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、ご使用になる人や他の人々への危害や財産の損失を未然に防ぐものです。必ずお守りください。

●本書では必ずお守りいただく事項を下記のように分類しています。



 危険	 警告	 注意
人が死亡したり重傷（※1）を負ったりする恐れが大きい内容です。	人が死亡したり重大な損害（※2）を受けたりする可能性がある内容です。	人が傷害（※3）を負ったり、物が破損したりする可能性がある内容です。
<p>（※1）重傷とは、失明やケガ、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療のために入院や長期通院を要するものを示します。</p> <p>（※2）損害とは、家屋・家財、および家畜・ペットなどに関わる拡大損害を示します。</p> <p>（※3）傷害とは、治療に入院や長期通院を要さないケガ、やけど、感電などを示します。</p>		

●図記号の意味



 禁止	行ってはいけない内容を示します。	 必ず守る	必ず行わなければならない内容を示します。
--	------------------	--	----------------------

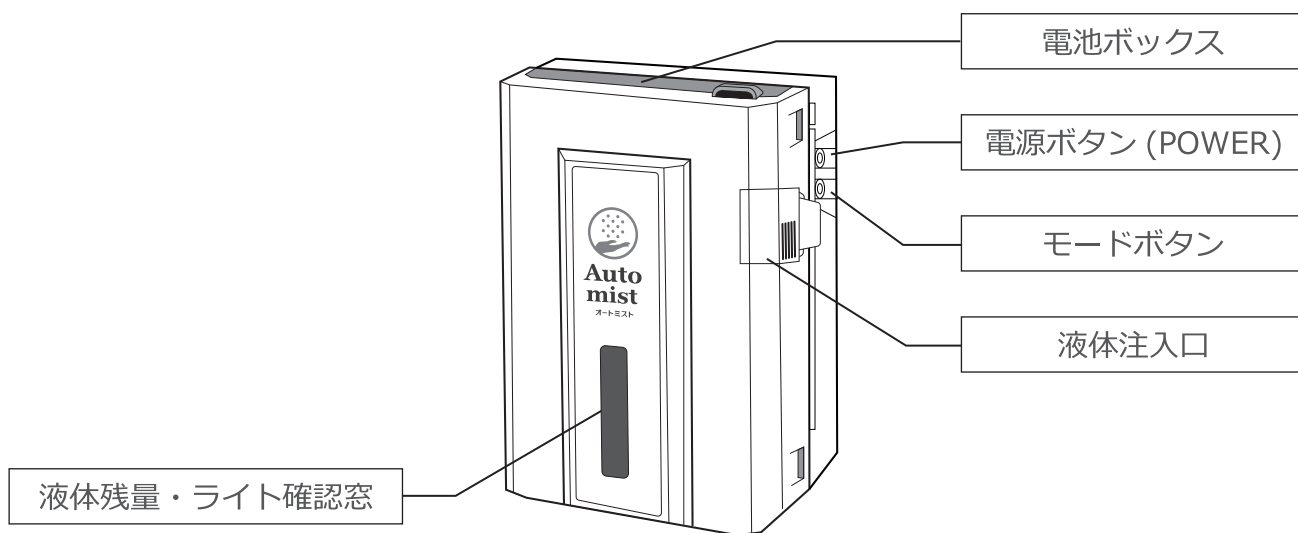
 危険			
 禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>●火気や火花がでる器具、油やガス漏れの恐れのある場所に設置しない。</li><li>●直射日光の当たる場所、高温になる場所には設置しない。</li><li>●湿気やホコリの多い場所には設置しない。</li><li>●タンク内に異なる液体を混ぜて使用しない。</li></ul>	 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"><li>●液体は手指消毒剤を使用する。</li><li>●それまで使用していた液体と違う液体を充填する場合はタンク内を水でよく洗浄し、乾燥させてから、新しい液体を充填する。</li></ul>

 **警告**

 禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>● 分解、修理、改造は行わない。</li><li>● 本製品に水や液体をかけない。</li><li>● 次亜塩素酸ナトリウム水や漂白剤は、人体や金属製品などに影響を及ぼす恐れがあるため、噴霧液として使用しない。</li><li>● 誤飲の恐れがあるため、ねじやタンクキャップをお子様やペットの手の届く場所に置かない。</li><li>● 本製品をお子様やペットの触れる可能性のある場所に置かない。</li></ul>	 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"><li>● 本書に従い、組立・設置の上、使用する。</li><li>● 異常発生時には、直ちに運転を停止し、電池をはずすまたは電源を抜く。</li><li>● 点検・清掃は電池をはずすまたは電源を抜く。</li></ul>
---	--	---	---

 **注意**

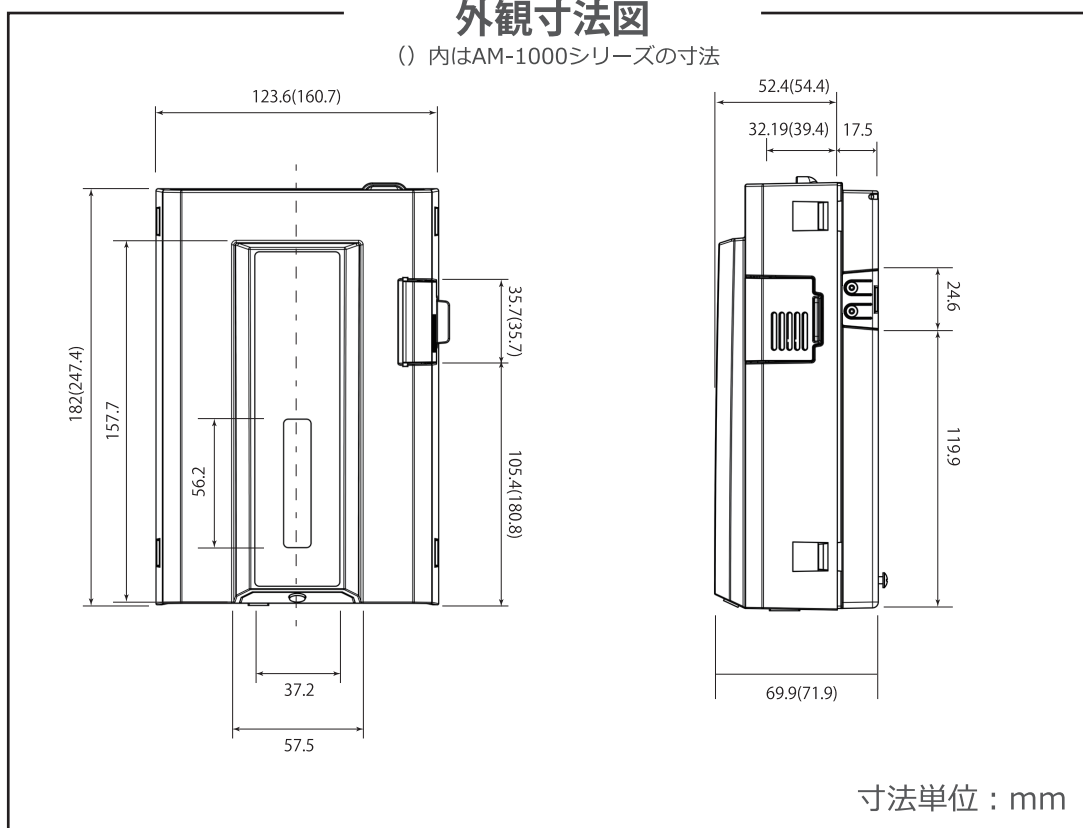
 禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>● 強い衝撃を与えたり落下させたりしない。転倒させない。</li><li>● 製品の上に物を置かない。</li><li>● 他のメーカーや他の種類の電池と混ぜて使用しない。</li><li>● 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。</li><li>● タンク内に液体以外のものをいれない。</li><li>● 泡状や粘性のある液体石鹸やジェルなどを使用しない。</li><li>● 屋外や車内で使用しない。</li></ul>	 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"><li>● 定期的に点検や清掃を行う。</li><li>● タンク内に液体を注ぐ際は、液体がこぼれたり、製品にかからないようにする。</li><li>● アルカリ単 3 乾電池のみを使用する。</li><li>● 長時間ご使用にならない場合、電池をはずし、タンク内の液体を捨て、水でタンク内やノズル内を洗浄し、乾燥させた状態で保管する。</li><li>● 本体を設置する卓上スタンドおよび、本体周辺は液体がかかる可能性がある。</li><li>● 液体の成分によって、変色や劣化する恐れがある。</li><li>● 本体に液体がかかったらすぐにふき取る。</li></ul>
---	---	---	--



※イメージはAM-350モデル

## 外観寸法図

( ) 内はAM-1000シリーズの寸法



項目	内容	
名称	オートミスト 350mL	オートミスト 1000mL
型式	AM-350 シリーズ <sup>※</sup>	AM-1000 シリーズ <sup>※</sup>
本体 寸法	約 W123×H182×D69mm	約 W164×H247×D72mm
本体 質量	約 320g（液体重量を除く）	約 470g（液体重量を除く）
本体 材質	ABS（タンク材質 PE）	
卓上脚 寸法（オプション）	約 W123×H152×D113mm	-----
卓上脚 質量（オプション）	約 80g	-----
卓上脚 材質（オプション）	ABS	-----
液体タンク容量	約 350mL	約 1000mL
電源	アルカリ単 3 乾電池 4 本	アルカリ単 3 乾電池 4 本
使用環境温度	0 ～ 45℃	
使用環境湿度	0 ～ 95 %（結露なきこと）	
使用薬液	アルコール	
噴霧量（弱 / 中 / 強）	約 0.5 / 1 / 3 ml（ミストタイプ）	
連続噴霧間隔	約 2 秒	
センサー感知距離	卓上タイプ 約 20 ～ 40mm / 壁掛専用タイプ 約 100 ～ 120mm <sup>※</sup>	
付属品	取扱説明書	
電池設計寿命	20 回 / 日、弱モードで使用した場合、約 300 日	
保証	1 年（※付属品は除く）	

※本使用はシリーズ共通の仕様書となります。モデルごとの取扱説明書がある場合はそちらをご参照ください。

※本仕様は製品向上のため、予告なく変更されることがあります。ご了承ください。

※電池寿命につきましては、使用する電池の種類や環境によって変化します。参考としてお考えください。

※卓上スタンド対応タイプはセンサー距離が短く、壁取付専用タイプはセンサー距離が長い仕様となっています。  
壁取付専用タイプのオートミストを卓上スタンドに取り付けると誤動作する場合があります。

※センサーの下に、卓上タイプは10cm以内、壁掛専用タイプは30cm以内に障害物を置かないで下さい。  
センサーが誤反応する場合があります。

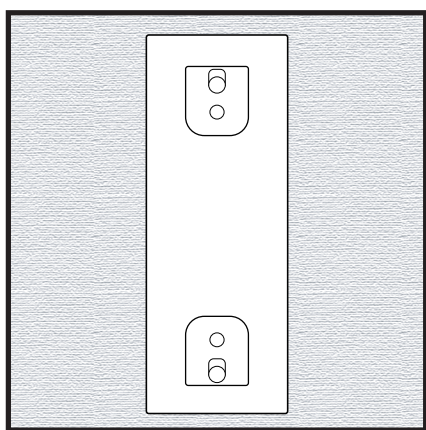
## ◆設置・組立の前に



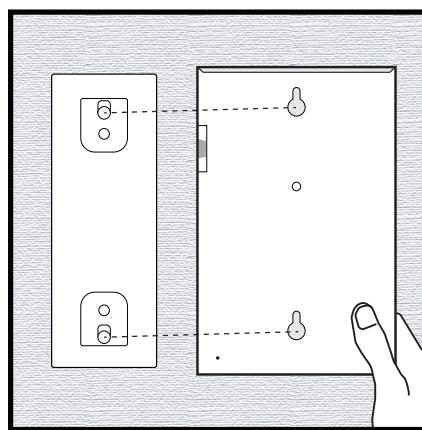
### 注意

- ※必ず本体を壁やフロアスタンドに設置した後に、タンクに液体を充填してください。タンクに液体を入れたまま傾けたり倒したりすると、液体がこぼれ、故障の原因になります。
- ※本体は振動や強い衝撃が加わらない場所に設置してください。落下して破損する恐れがあります。
- ※直射日光が当たる場所や強い光が当たる場所に設置しますとセンサーが誤動作する恐れがあります。

## ◆壁やフロアスタンドへの設置方法



<図 1>



<図 2>

1. 壁やフロアスタンドなどに貼り付ける際は、設置する面の汚れや油分をよくふき取ってから設置してください。
2. オートミスト用壁取付テープ（別売）の裏側の保護テープをはがし、貼り付け箇所にしっかりと貼り付けてください。（図 1 参照）
3. 貼り付けの際は水平を確認してください。斜めに設置しますとオートミストをフックした際に落下の危険があります。
4. オートミストを壁取付テープにフックする際は、しっかりとフックが掛かっていることを確認してください。（図 2 参照）



### 注意

- ※非常に粘着性の高いテープのため、壁紙や薄い木製の壁などに貼り付けますと剥がす際に壁紙が剥離したり、木製の壁が割れたりする場合がありますのでご注意ください。
- ※ブロック塀やレンガ壁のような凹凸があるような場所には貼り付けできません。無理に貼り付けると落下の危険があります。
- ※オートミスト用壁取付テープ以外の、両面テープやを使用して取付ける場合は粘着性の高いものを使用してください。粘着性が弱いと落下の危険があります。
- ※ネジや釘など使用してオートミストを設置する場合は、ケガのないように作業してください。

※オートミスト用壁取付テープは別売りです。

◆保護フィルムのはがし方



**注意**

※保護フィルムをはがす際は、爪などではがそうすると、爪が折れたり、ケガをする恐れがあるので、セロハンテープなどを保護フィルムの端に貼り付けていただき、テープと一緒に持ち上げる様にしてはがしていただく事を推奨します。

アクリルパネルには、郵送の際の傷を防ぐため、保護フィルムが貼ってあります。ご使用前には、必ず保護フィルムをはがしてからご使用ください。

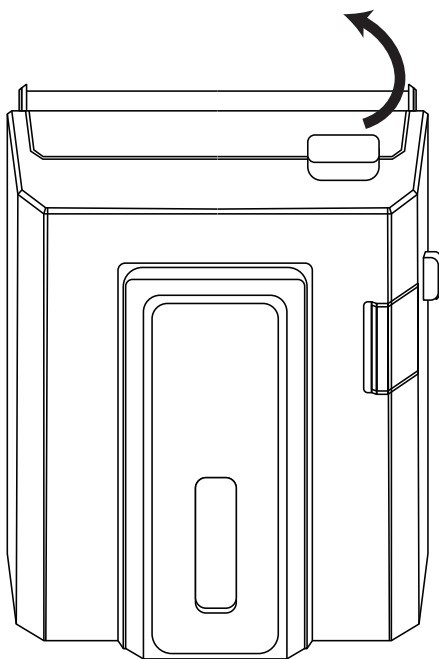
◆電池の入れ方



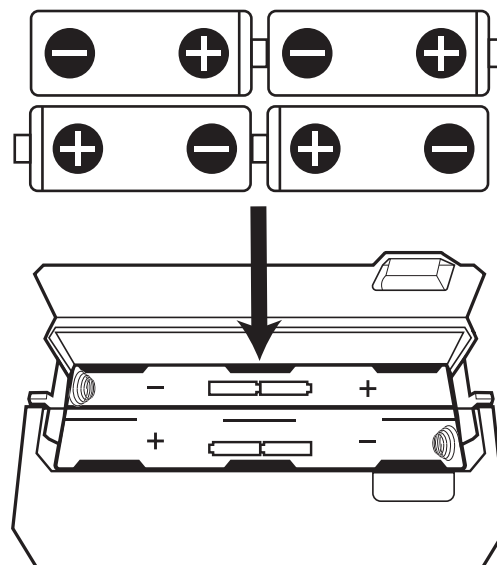
**注意**

※電池ボックスを開ける際や電池を製品から取り外す際は、爪が折れたり、ケガをする恐れがあるのでご注意ください。  
※アルカリ単3乾電池のみをご使用ください。  
※古い電池と新しい電池を混ぜたり、メーカーの違う電池を混ぜたりして使用しないでください。

1. 本体上部の電池ボックスを開きます。(図1参照)
2. 電池ボックス内に示されてされているプラスとマイナスの向きに従って、単3アルカリ乾電池を4本セットします。(図2参照)
3. 電池ボックスを閉めます。



<図1>



<図2>

※乾電池は別売りです。

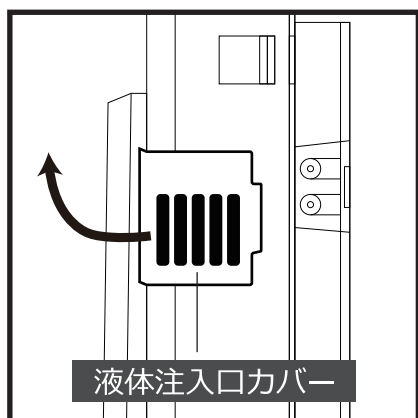
◆液体の充填方法



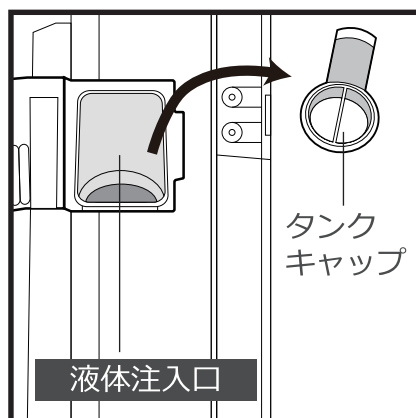
注意

- ※液体は手指消毒剤を使用してください。
- ※本体の電源をオフにした状態で作業してください。
- ※本体を壁や卓上スタンドに設置した後に、液体を充填してください。液体が入った本体を傾けたり倒したりすると、液体がこぼれ、故障の原因になります。
- ※異なる液体を混ぜて使用しないでください。
- ※それまで使用していたものと違う液体を充填する場合はタンク内を水でよく洗浄し、乾燥させてから、新しい液体を充填してください。
- ※液体充填時は、本体や電池ボックスに液体がからないようにご注意ください。故障の原因となります。
- ※万が一、液体が本体にかかった場合は、すぐにふき取り、乾かしてから時間をおいてご使用ください。入れすぎてあふれてしまった場合、P 9 のタンク内のお手入れ方法の内容に従い、入れすぎた液体を捨ててください。

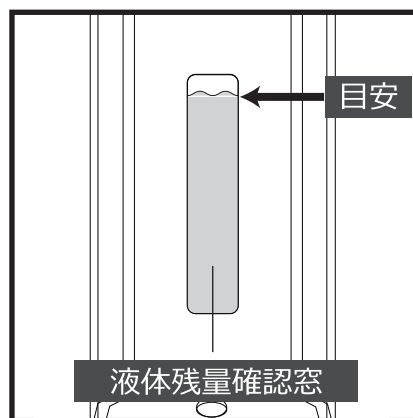
1. 本体正面の液体注入口カバーを矢印の方向に開きます。(図 1 参照)
2. 液体注入口内にある、タンクキャップを外します。(図 2 参照)
3. 図 3 の液体残量確認窓の目安の量まで液体を入れてください。  
液体注入口の中を見ながら注ぐとあふれる可能性があるため、必ず液体残量確認窓で上限を確認してください。(図 3 参照)
4. 液体を注ぎ入れたら、液体注入口付近に付着した液体をふき取って、タンクキャップを戻し、液体注入口カバーを閉じます。



<図 1>



<図 2>

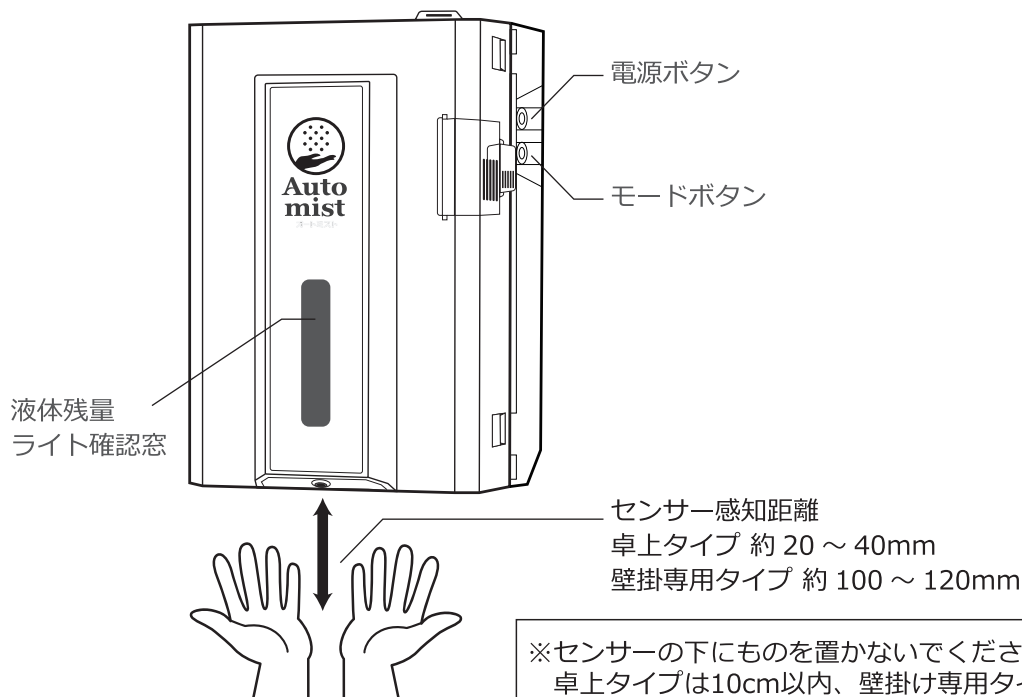


<図 3>

※AM-1000 シリーズの場合は、MAXLEVEL の位置を目安にしてください。

### ◆電源の入れ方・噴霧の方法

1. 電源ボタンを1度押すと、ライト確認窓が青く1回点滅し、電源がオンになります。
2. 本体の下に手をかざすと、センサーが反応し、液体が噴霧されます。  
噴霧されている間は、ライト確認窓が青く点灯します。
3. 電源ボタンをもう1度押すと、ライト確認窓が赤く1回点滅し、電源がオフになります。



### ◆液体噴霧量の調節方法

電源ボタンを ON にする度に噴霧量は「弱」からスタートされます。  
噴霧量の切り替えはモードボタンで変更できます。噴霧量は「弱・中・強」の3種類です。

### ◆ライト表示の説明（ノーマルタイプ）

電源オンにした時	青ライト 1回点滅
電源オフにした時	赤ライト 1回点滅
待機中	青ライト 6秒に1回点滅※
噴霧中	青ライト 点灯
噴霧量を「弱」に切り替えた時	青ライト 1回点滅
噴霧量を「中」に切り替えた時	青ライト 2回点滅
噴霧量を「強」に切り替えた時	青ライト 3回点滅
センサー異常または電池交換サイン	赤ライト 連続点滅

※Wi-Fiタイプや温度センサー付きの場合は、上記と異なる場合があります。  
※待機中の点滅が無いモデルもございます。

**注意**

※故障の原因となるため、本体を濡らさないでください。  
 ※お手入れの際は、本体を設置場所（壁面・フロアスタンド・卓上スタンド）から取り外してください。  
 ※なお、取り外す際はタンク内の液体がこぼれないように注意してください。  
 ※お手入れの際は、ベンジンやアルコールといった薬品などを使用しないでください。

**◆本体のお手入れ方法**

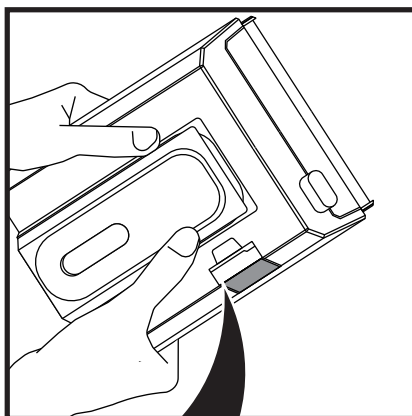
1. やわらかい布を水またはぬるま湯にひたし、良く絞ってから本体の汚れをふき取ってください。
2. 液体注入口や噴霧口は汚れやすいため、こまめに清掃してください。

**◆タンク内のお手入れ方法**

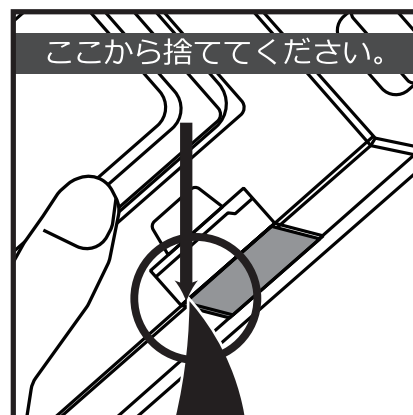
1. 液体注入口のカバーを開き、タンクキャップをはずします。（図 1 参照）
2. イラストのように傾けてタンク内の液体を捨てます。  
 この時、本体内や電源ボタンが濡れる恐れがあるため、必ず本体の正面を自分側に向けて持ち、自分側に傾けて液体を捨ててください。（図 2・3 参照）
3. 水やぬるま湯をタンク内に注ぎ、タンク内をゆすぎます。
4. ゆすぎ終わったら、タンク内の水を捨て、乾かします。



&lt;図 1&gt;



&lt;図 2&gt;



&lt;図 3&gt;

**こんな時には**

赤ライトが点滅した時は、本体電源をオフにして 1 から 4 の順に確認してください。

1. センサー部分の下 10cm 以内（壁掛専用タイプは 30cm 以内）に障害物がないか確認してください。障害物がある場合は移動してください。
2. センサーにホコリや汚れ、または水滴が付着している可能性があります。  
 柔らかい布を水もしくはぬるま湯にひたし、よく絞ってからふき取ってください。
3. 乾電池を一度取り外し、再度セットして電源を入れ、エラーの状態を確認してください。
4. 上記でもエラーが解消しない場合は、新しい乾電池に交換してみてください。

※赤ライトの点滅エラーは、センサー異常または乾電池切れです。

上記でエラーが解消しない場合は、お手数ですが弊社まで問い合わせください。

※液体注水時に溢れた場合や、本体を転倒させた場合に、

液体が内部にこぼれてセンサーに異常が出る場合があります。

その場合は、内部の液体が乾くまで（およそ 1～2 日）使用を中止してください。

## ◆保証規定

- 1 保証期間内に本説明書に従い正しくお使いいただいたにもかかわらず、故障した場合は、ご購入いただいた日本国内でのみ本保証書記載内容に基づき無料修理いたします。ただし、消耗品および付属品は除きます。(This warranty is valid only in Japan.)
- 2 保証期間内でも次の場合は有料修理、もしくは修理不可となります。
  - ① 本保証書の提示がない場合、および所定事項の未記入、文字の改ざん、販売店名 / ご購入日の記載がない場合。
  - ② ご購入後の輸送、移動、落下などによる故障および破損。
  - ③ 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害による故障および損傷。
  - ④ 使用上の誤りおよび不当な分解、修理、改造による故障および損傷。
  - ⑤ 指定外の使用、保管、電源による故障および損傷。
  - ⑥ ご使用による汚れ、故障および損傷。
- 3 保証期間中の修理は、ご購入の販売店に保証書を提示の上、ご依頼ください。
- 4 本保証書の再発行はいたしませんので、大切に保管してください。
- 5 通信販売等で販売店印の表記がない場合は、ご購入日が記載されている購入明細と一緒に保管して保証書に添付してください。
- 6 修理対象商品の送料等はおお客様の負担となります。

## ◆免責事項と限定保証

- 1 本製品を使用または設置したことによって起きた、全ての故障、破損および人々への危害や財産の損失については保証いたしかねます。
- 2 電池、付属品等は消耗品の為、保証対象外となります。
- 3 本保証は製品が販売された日本国内でのみ保証の対象となります。
- 4 本保証は、明示した期間と上記条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

## ◆個人情報の取り扱い

- 1 お客様の個人情報は弊社商品の発送、連絡、問い合わせ、回答、依頼作業、キャンペーン、情報（広告を含む）の案内（電話・郵送・メール等の方法による）に利用いたします。
- 2 弊社はお客様情報を第三者へ提供することはありません。但し、以下のいずれかに該当する場合を除きます。
  - ・弊社商品の発送等に必要な個人情報。
  - ・法令に基づく場合。
  - ・人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合。



フリガナ			
お客様名			
ご住所	<div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> </div>	都道府県	市区郡
	TEL. (	)	—
	FAX. (	)	—
設置場所			

## 販売店